

新宗教新聞

信の自由を守ろう
信仰心を広めよう
宗教協力を進めよう
世界の平和に貢献しよう

第31期第6回理事会を開催



新宗連 第31期第6回理事会を開催
新日本宗教団体連合会(略称 新宗連)は2月28日午後1時から、オンラインで「第31期第6回理事会」を開催し、令和4年度の事業計画及び予算を原案通り承認した。

令和4年度事業計画・予算を承認
結成70周年記念事業、年度内に実施へ

新日本宗教団体連合会(略称 新宗連)は2月28日午後1時から、オンラインで「第31期第6回理事会」を開催し、令和4年度の事業計画及び予算を原案通り承認した。「新宗連結成70周年記念事業」については、令和4年度内に教団代表者による座談会と戦争犠牲者、物故者慰霊(巡礼)団派遣など、新型コロナウイルスにより延期していた事業を実施する予定であることが報告された。

新宗連結成70周年
原点と歩みをたどる

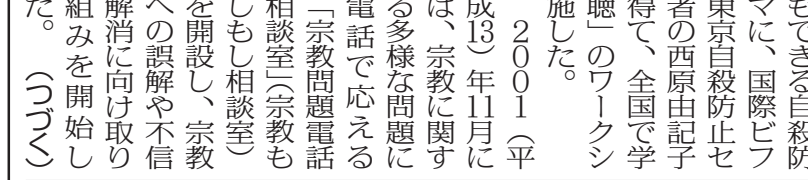
1952年(昭和27)年7月、リクルート関連会社による政界・官界を揺るがす贈賄事件が発覚し、翌年にかけて政治状況は混乱していた。新宗連は翌89(平成元年)3月、「政治倫理の確立を求め、政治書」を竹下登首相に提出したほか、各種「意見書」「見解書」等を提出し、政治浄化を訴えた。1990(平成2)年8月、リクルート関連会社による贈賄事件が発覚し、翌年にかけて政治状況は混乱していた。新宗連は翌89(平成元年)3月、「政治倫理の確立を求め、政治書」を竹下登首相に提出したほか、各種「意見書」「見解書」等を提出し、政治浄化を訴えた。1990(平成2)年8月、リクルート関連会社による贈賄事件が発覚し、翌年にかけて政治状況は混乱していた。新宗連は翌89(平成元年)3月、「政治倫理の確立を求め、政治書」を竹下登首相に提出したほか、各種「意見書」「見解書」等を提出し、政治浄化を訴えた。

多様な時代の課題に対応を
湾岸戦争の避難民救援、環境問題などで行動

同年1月、日本カトリック司教協議会と日本キリスト教協議会とともに「湾岸戦争避難民救援実行委員会(GEREC)」を結成し、宗教協力的な活動を開始した。当時、政府は戦争避難民の移送を目的に自衛隊機の移送を申請していたが、GERECは民間湾岸戦争の避難民救援活動



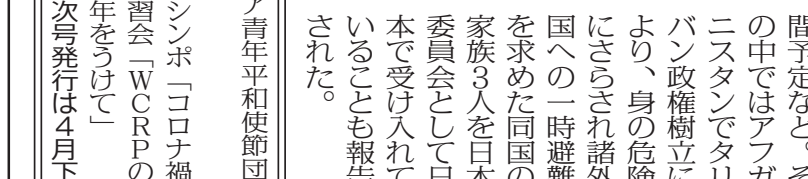
湾岸戦争の避難民救援活動
新宗連は1995年(平成7)年1月、リクルート関連会社による贈賄事件が発覚し、翌年にかけて政治状況は混乱していた。新宗連は翌89(平成元年)3月、「政治倫理の確立を求め、政治書」を竹下登首相に提出したほか、各種「意見書」「見解書」等を提出し、政治浄化を訴えた。



湾岸戦争の避難民救援活動
新宗連は1995年(平成7)年1月、リクルート関連会社による贈賄事件が発覚し、翌年にかけて政治状況は混乱していた。新宗連は翌89(平成元年)3月、「政治倫理の確立を求め、政治書」を竹下登首相に提出したほか、各種「意見書」「見解書」等を提出し、政治浄化を訴えた。



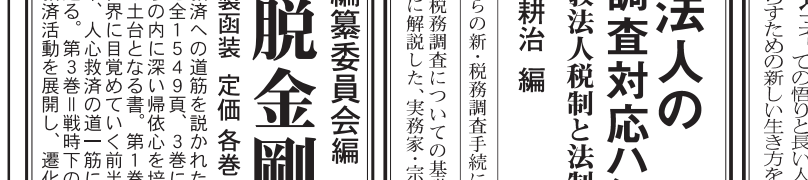
湾岸戦争の避難民救援活動
新宗連は1995年(平成7)年1月、リクルート関連会社による贈賄事件が発覚し、翌年にかけて政治状況は混乱していた。新宗連は翌89(平成元年)3月、「政治倫理の確立を求め、政治書」を竹下登首相に提出したほか、各種「意見書」「見解書」等を提出し、政治浄化を訴えた。



湾岸戦争の避難民救援活動
新宗連は1995年(平成7)年1月、リクルート関連会社による贈賄事件が発覚し、翌年にかけて政治状況は混乱していた。新宗連は翌89(平成元年)3月、「政治倫理の確立を求め、政治書」を竹下登首相に提出したほか、各種「意見書」「見解書」等を提出し、政治浄化を訴えた。



湾岸戦争の避難民救援活動
新宗連は1995年(平成7)年1月、リクルート関連会社による贈賄事件が発覚し、翌年にかけて政治状況は混乱していた。新宗連は翌89(平成元年)3月、「政治倫理の確立を求め、政治書」を竹下登首相に提出したほか、各種「意見書」「見解書」等を提出し、政治浄化を訴えた。



湾岸戦争の避難民救援活動
新宗連は1995年(平成7)年1月、リクルート関連会社による贈賄事件が発覚し、翌年にかけて政治状況は混乱していた。新宗連は翌89(平成元年)3月、「政治倫理の確立を求め、政治書」を竹下登首相に提出したほか、各種「意見書」「見解書」等を提出し、政治浄化を訴えた。



湾岸戦争の避難民救援活動
新宗連は1995年(平成7)年1月、リクルート関連会社による贈賄事件が発覚し、翌年にかけて政治状況は混乱していた。新宗連は翌89(平成元年)3月、「政治倫理の確立を求め、政治書」を竹下登首相に提出したほか、各種「意見書」「見解書」等を提出し、政治浄化を訴えた。



湾岸戦争の避難民救援活動
新宗連は1995年(平成7)年1月、リクルート関連会社による贈賄事件が発覚し、翌年にかけて政治状況は混乱していた。新宗連は翌89(平成元年)3月、「政治倫理の確立を求め、政治書」を竹下登首相に提出したほか、各種「意見書」「見解書」等を提出し、政治浄化を訴えた。

第38回理事会・第23回評議員会
「WJアジェンダ2030」実施に向け

世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会(植松 理恵子)をオンライン併用で行った「第4回録の国勢調査」を行った。1995(平成7)年1月17日の阪神・淡路大震災は未曾有の被害をもたらした。新宗連青年会は同日、ボランティアチームを編成し、4日以上の行程で8次まで心のケアのボランティアチームを3月まで派遣した。また、1998(平成10)年から年間自殺者が8年連続で3万人を超え、大きな社会問題となった。2000年11月24日、京都市で開催されたWCRP創設50周年記念式典で発表された「WJアジェンダ2030」については、日本委員会が2030年までに着手する6項目の特別事業部門(タスクフォース)と常設機関を報告した。

「WJアジェンダ2030」実施に向け
WCRP 日本委員会

年11月24日、京都市で開催されたWCRP創設50周年記念式典で発表された「WJアジェンダ2030」については、日本委員会が2030年までに着手する6項目の特別事業部門(タスクフォース)と常設機関を報告した。報告事項は法人業務や国際関係の業務、年間予定など。その中でアフリカニスタンでテロリズムが横行していること、身を守るための危険な状況に置かれていること、宗教的迫害を受けていることなどが報告された。

滔々抄

2月20日、冬季オリンピックが閉会しました。コロナ禍ばかり暗い報道の毎日ですが、北京で頑張った日本人選手たちの活躍は沈みかちな私たちの心を勇気づけてくれます。先に行われた団体戦ですが、貴方の行いを神様は見ている。冬季オリンピック 不可解な事態に思う。冬はR.O.C.が優勝しました。WJアジェンダ2030の推進は、世界宗教者平和会議(WCRP)の活動の中心です。WCRPは、世界宗教者平和会議(WCRP)の活動の中心です。WCRPは、世界宗教者平和会議(WCRP)の活動の中心です。

新宗連青年会アジア青年平和使節団 平和学習会

新宗連青年会アジア青年平和使節団は、2001(平成13)年11月に成り、宗教に関する多様な問題に「宗教問題電話相談室(宗教もよし相談室)」を開室し、宗教への誤解や不信の解消に向け取り組みを開始した。

結成70周年メニュー

新宗連結成70周年のメニュー「今、そして未来につなぐ信仰の力と光」は一昨年10月、理事会での記念事業大綱案の中で示され、決定した。このメニューのもと、諸記念事業は「信仰の力と光を世に顕し、次世代、未来へとつないでいく」「新宗連スローガン」を掲げ、実施される。

解脱会

解脱会 解脱金剛伝 全3巻
A5判 上製函装 定価各巻3,000円(税込)
A4判 国際宗教研究所公開シンポジウム「コロナ禍を見極める宗教者の担い手」WCRP新春学習会「WCRPのこれから」ACRP大会とWCRP創設50周年をうけて
(次号発行は4月下旬の予定です)

慈悲のかたち

慈悲のかたち 大竹俊幸 著
佛教ボランティアの思考と創造
定価4,200円(税込)
現代人へのための仏教説話50
定価6,000円(税込)

東日本大震災後の宗教とコミュニティ

東日本大震災後の宗教とコミュニティ
宗教学者 山本浩之 著
定価3,000円(税込)

老春歌

老春歌 長生きの秘訣
御木徳近著
定価1,000円(税込)

解脱会

解脱会 解脱金剛伝 全3巻
A5判 上製函装 定価各巻3,000円(税込)
A4判 国際宗教研究所公開シンポジウム「コロナ禍を見極める宗教者の担い手」WCRP新春学習会「WCRPのこれから」ACRP大会とWCRP創設50周年をうけて
(次号発行は4月下旬の予定です)

解脱会

解脱会 解脱金剛伝 全3巻
A5判 上製函装 定価各巻3,000円(税込)
A4判 国際宗教研究所公開シンポジウム「コロナ禍を見極める宗教者の担い手」WCRP新春学習会「WCRPのこれから」ACRP大会とWCRP創設50周年をうけて
(次号発行は4月下旬の予定です)

アジア青年平和使節団 平和学習会

先達の思いとともに原点を学ぶ

新日本宗教学青年会連盟(新宗連)青年会、宮本泰克委員長は2月19日午後、東京・オンラインで「アジア青年平和使節団の歴史」と題した学習会を開催した。

「アジア青年平和使節団」は、1949年に設立された。その目的は、戦争の歴史を学び、平和の重要性を伝えることにある。

学習会では、新宗連の歴史や、アジア青年平和使節団の活動について詳しく説明された。また、過去の使節団員による体験談も紹介された。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

連 青



「映画『アジア使節団』のラストシーン。左から、新宗連青年会代表の宮本泰克委員長、新宗連青年会事務局長の鈴木孝太郎氏、アジア青年平和使節団の代表の田中重仁氏ら。

この学習会を通じて、参加者は先達の思いや平和の大切さを再認識した。また、今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

第39回庭野平和賞

マイケル・ラプスレー司祭(南アフリカ)に

庭野平和財団(庭野日織)は、2月21日午後2時から、東京都内のホテルで記者会見を行い、「第39回庭野平和賞」を南アフリカ共和国のマイケル・ラプスレー司祭に贈呈することを発表した。

ラプスレー司祭は、南アフリカ共和国の聖公会(聖使徒教会)の司祭に就任し、1990年から南アフリカ共和国の平和と和解のために活動している。



マイケル・ラプスレー司祭は手紙に「平和のために努力し、平和を築くことに貢献した」と述べた。

ラプスレー司祭は、南アフリカ共和国の平和と和解のために活動している。また、南アフリカ共和国の聖公会(聖使徒教会)の司祭に就任し、1990年から南アフリカ共和国の平和と和解のために活動している。

ラプスレー司祭は、南アフリカ共和国の平和と和解のために活動している。また、南アフリカ共和国の聖公会(聖使徒教会)の司祭に就任し、1990年から南アフリカ共和国の平和と和解のために活動している。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

節分行事 各地で執行

季節の節目にあたり、会員・信徒の厄除け・健康・幸せを祈願する「節分」。各教団とも新型コロナウイルス感染症対策を施した中で、またオンラインでのライブ配信も行われた。

宮本法嗣が心込め祈願

妙智會教団(宮本恵司法嗣)は、節分追儀式を2月3日午前11時から、東京・代々木の本部本館で執り行った。

宮本法嗣が導師席に着き、玄壇三唱に続いて、1月20日からこの日まで15日間、修行を会員と共に成し遂げることができると感謝し、「節分厄除け誓願書」を一人ひとりの名前と生年月日を読み上げて、心を込めて祈願した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

三大幸福を果らせる

大和教団

大和教団(保積秀胤教主)は、2月6日午前11時から、仙台市の大和神社祈禱殿で「節分厄除祭」を執り行った。

保積教主は、「節分厄除祭」を通じて、三大幸福(健康・経済の安定・心の安んず)を果せると祈願した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

心の三毒の鬼を払う

福聚の会

福聚の会(杉浦妙周会長)は、1月30日午前10時半から、愛知県知立市の本部・大乗山法隆寺で「令和4年節分会」を執り行った。

杉浦会長は、「心の三毒(貪・瞋・痴)の鬼を払い、心を清くする」と祈願した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。

また、新宗連青年会連盟の活動や、アジア青年平和使節団の今後の活動についても話し合われた。

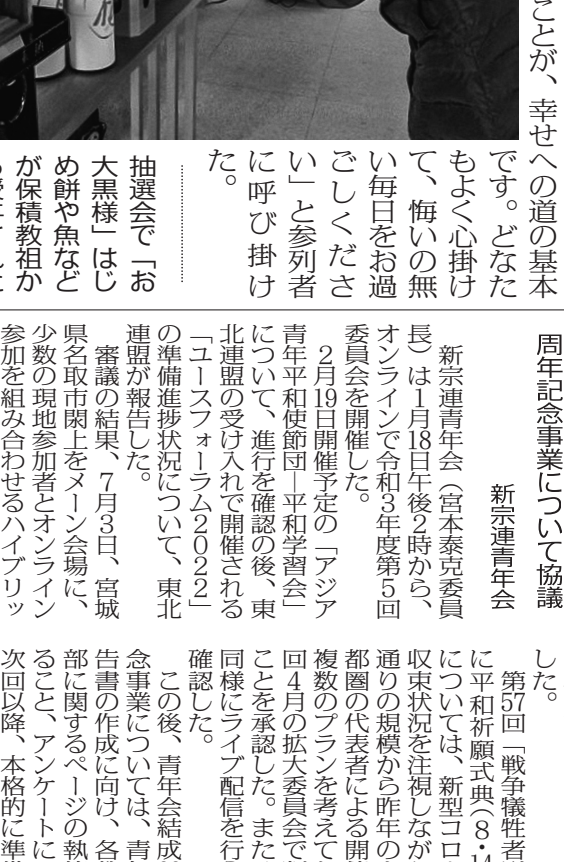
宮本委員長は、「先の大戦から70年以上が経過し、記憶の風化、知識の欠如が危ぶまれる」と述べ、学習の重要性を強調した。



須弥壇内陣で福豆をまく宮本法嗣。右から、新宗連青年会代表の宮本泰克委員長、新宗連青年会事務局長の鈴木孝太郎氏、アジア青年平和使節団の代表の田中重仁氏ら。



田中会長から「お祈り」を受ける。右から、新宗連青年会代表の宮本泰克委員長、新宗連青年会事務局長の鈴木孝太郎氏、アジア青年平和使節団の代表の田中重仁氏ら。



祭儀の後、保積教主は「お祈り」を受ける。右から、新宗連青年会代表の宮本泰克委員長、新宗連青年会事務局長の鈴木孝太郎氏、アジア青年平和使節団の代表の田中重仁氏ら。

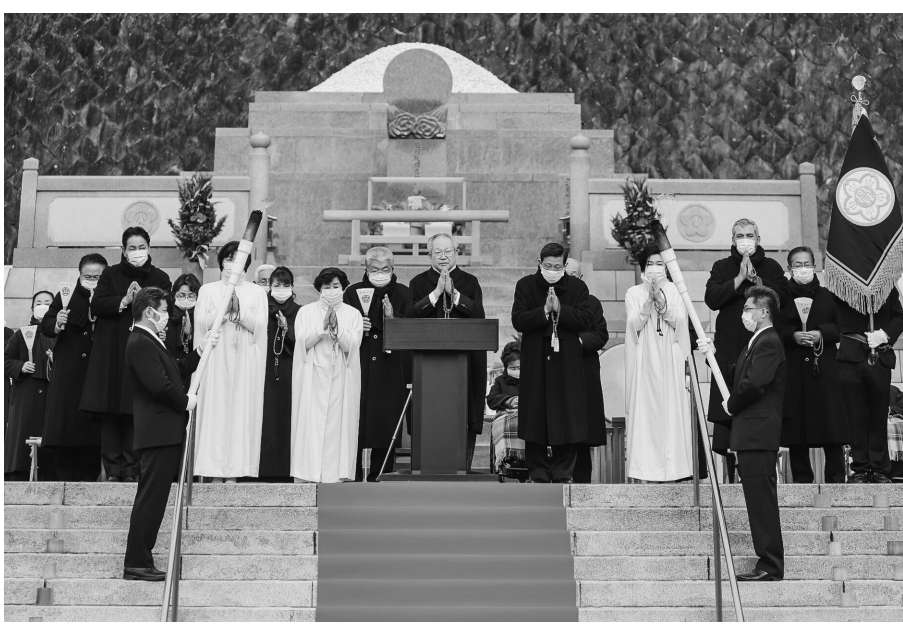
相手の心を生かす働きを

第98回教祖祭 墓前式典

田心教

田心教(深田充啓教主)は1月6日、午前10時半から兵庫県丹波市本部聖地にて深田千代子教祖(慈照院園應賢大姉)を偲ぶ、「第98回教祖祭」を執り行った。新型コロナウイルス感染症対策のため、開催時間と内容を変更。教祖が昇天した午前5時に御墓所内庭にて、深田充啓教主と「墓前式典」を執り行った。

開式前には百年太鼓調「田心教歌」が演奏され、教祖の働きに感謝の誠を捧げた。その後、参列者一同



「御親教」を行った。私たちが困難な時こそ、人とのつながりや助け合い、人の情や思いやりの大切さを痛感するとして、「日頃から、家族ともある自分」を今一度見つめ直し、家庭の中でも良いと思つたことは自ら実践し続けていきたい」と説いた。その上で、「何事も良き方に振り、今年のごく勇敢に愛情をもつて歩んでいきたい」と述べた。

午後1時から本殿にて、「祥月式典」を行った。献上の儀の後、「おつと中」祝電披露、祝辞に続いて村史部理事長が新年のあいさつを述べた。

深田教主が「御親教」教典の186項の「あなた様よりお言葉に愛をつづいて」を引き、「あなたから

開祖の教えを次世代へ

開教84周年記念式典

思親会

開教84周年記念式典は、飯島法道会長(思親会)の言葉で相手を感じ、思いやり、相手の心を生かすという意味で述べた。思親会が「感謝や謙虚さが無ければ、言葉も礼儀も横柄になつてしまふ。日々、お互いが身近な人と幸せを祈り合い、皆さんが喜び深い一年になるようお祈りしています」と説いた。

大法輪台光妙法教(星野政和会長)は1月13日から15日まで、福岡県太宰府



飯島法道会長は、「御親教」で親孝行、先祖供養、法華経広宣流布について語った。

大日如来様の慈悲に生かされ

第44回御昇天奉祝大祭 光妙法教

思親会

市本部で、「第44回御昇天奉祝大祭」を執り行った。初日13日の式典は午前10時半に開式した。「私たちのお慈悲、斉唱の後、大祭委員長の星野政和会長があいさつを述べ、「今年ねの慈悲に生かされ、救われることに感謝し、正しい心の道を歩ませいいただきますよ」と説いた。龍聖音楽と地場き歌謡の奉納に続き、「生命の威光」でお返しを述べた。その後、正面の御法座の赤白のおんみたま像(座像)が厳かに姿を表わすと、参列者の「なむあみたま」の唱名が堂内に響き渡り、「大日如来様」の御真言(録音)が流された。御法座の幕が閉じられ、「大日如来様」退座の後、星野会長が登壇し、「しんりのひらき」を述べた。その後、江口家親族から信徒の順で「生命の威光」の奉納が行われた。

また13・14日の二夜にわたり奉納演芸が催され、会員信者が踊りや劇や合唱など、それぞれ趣向を凝らした演目を奉納し、「大日如来様の慈悲に生かされたい」と感謝を表現した。大祭最終日の15日には成人式と新総代を迎える総代会が行われ、3日間にわたる次第を無事終了した。



龍聖音楽の後、地場き歌謡が奉納された(13日)

祖先の歩み子々孫々に

第83回太陽精神碑建立記念祭 解脱会

解脱会(本部)東京・四谷、岡野英法法主は2月11日午前10時から、埼玉県北本市の御霊地で「第83回太陽精神碑建立記念祭」を開催し、全国会員代表者が参集した。

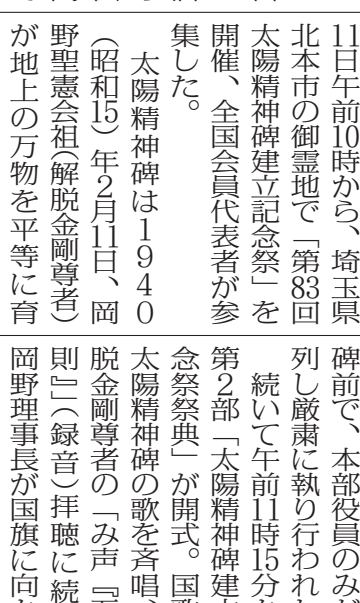
太陽精神碑は1940(昭和15)年2月11日、岡野聖恵会祖解脱金剛尊者が地上の万物を平等に育み、与え求めぬ太陽の心、無私大愛の精神を表象する碑として建立。解脱会では毎年、建国記念の日式典を開催している。

第一部「太陽精神碑建立記念祭」が開式。国歌と太陽精神の歌を斉唱し、解脱金剛尊者の「み声」「五法則」「録音」拝聴に続き、岡野理事長が国旗に向かい誓願文を奏上した。

この後、岡野理事長が「式辞」を述べ、「家庭祭祀の意義は、家そのものが神鎮まります社であり、住まう人々は神の眷属として、神の心で生活することであり」と説いた。

そして「最も大切なことは、自分の国のいしへの姿や祖先の歩んできた道では開闢をあげた椅子席と、尊く清らかなものであつたことを子々孫々に伝えること、子々孫々に至るまで伝え、護りゆくことこそが、解脱金剛さまが鉄石の信念で建立された太陽精神碑に込められた御心であったと信じます」と述べ、「皇國に報いるためにも、解脱金剛さまの御恩に報いるためにも、一心を尽くして務めて参りましょう」と強調した。

来賓祝辞の後、西村晴雄



常任理事の発声による万歳三唱をもつて記念祭は終了した。

アフガニスタンの人道危機に1300万円支援

立正佼成会一食平和基金

立正佼成会一食平和基金運営委員会(熊野隆規委員長)は1月12日、アフガニスタンで深刻化する人道危機に際し、1300万円の緊急支援を発表した。

支援金は、認定NPO法人ジェン(JEN)に100万円、一般社団法人平和財団に300万円、和村ユニテッドに300万円がそれぞれ、同国東部ナガハル州における救済物資の提供などに充てられる。

アフガニスタンでは昨年8月、イスラム主義組織タリバンが暫定政権を樹立。政情不安に干ばつや経済危機などが加わり、深刻な食糧危機に直面している。国連食糧農業機関(FAO)と国連世界食糧計画(国連WFP)の発表(昨年10月)によると、人口の半数以上にあたる2800万人が急性の食糧不安に直面し、5歳未満の子ども320万人が急性栄養不良に陥る恐れがある。このうち、約670万人が女性や子ども、特に支援を必要としている。約600世帯、約6700人を対象に、食料パケット(小麦・食用油・米・砂糖・豆類等)2カ月分を配布する。

▽平和財団ユニテッド(UNITE)は、食料購入のための現金支給と、ピースセンターの運営を通じて子どもたちへの安心できる居場所を提供。精神的サポートを行う。

大神様の慈悲、御救祖に感謝

大日然教 記念祭

大日然教(折茂美枝代表役員)は1月15日午前10時から、東京・西新宿の本部で「記念祭」を執り行った。記念祭は、折茂美枝代表が「折茂美枝代表役員代表として、折茂美枝代表が1949(昭和24)年1月15日、大神様からの神示により、「大日然教」と教団名を定めた日を記念するもの。

閉式にあたり、折茂代表役員は折茂美枝代表が1949(昭和24)年1月15日、大神様からの神示により、「大日然教」と教団名を定めた日を記念するもの。

折茂美枝代表が「折茂美枝代表が1949(昭和24)年1月15日、大神様からの神示により、「大日然教」と教団名を定めた日を記念するもの。



折茂美枝代表役員代表として、折茂美枝代表が1949(昭和24)年1月15日、大神様からの神示により、「大日然教」と教団名を定めた日を記念するもの。

和やかに言葉を交わす大切さ

令和4年次「御親教」式典

立正佼成会

立正佼成会(庭野日鏡会長)は1月7日午前9時から、東京・杉並の本部大聖堂で令和4年次「御親教」式典を挙げて、式典は、年頭にあたり、庭野日鏡会長が一年の修行精進の指針を示すもの。会員は参集せず、式典の映像がインターネットで会員向けにライブ配信された。

式典は東京佼成ウインドオーケストラ(TKWO)の序奏で始まり、国歌・会歌の斉唱に続き、庭野光祥次代会長を導師に読経供養を行った。

年頭あいさつに立った國富敬二理事長は、「法燈継承」以来、庭野会長は一貫して簡素をテーマに教えを説いてきたことを紹介。「簡素とは、省くものは省き、大事なものを極めること」とした上で、自分



庭野日鏡会長は「素心」「和言」の二幅の書き初めに込めた意味を説示した

この中で光祥次代会長は、立正佼成会の特徴は、法華経に顕現された真実を学び、教えを基に現実の社会で生きていくこと(立正)、人と交わり、縁を結ぶこと(倂成)にあると説明。特に「倂成」の大切さに触れ、自分の中にあるさまざまな思いにきちんと向き合いながら、人と出会うこと、「本当の意味で縁が結ぶ」と話した。

さらに、人と出会うことでの大愛や喜びを実際に味わうことで、教えを知識として学ぶだけにとどまらず、「教えを生きていくこと」が大切であると強調。「法華経を生きていく人」と縁を結ぶことが佼成会の一歩の魅力として、「人生を法華経し、法華経を人生とする」と述べた。

その上で、人の心について述べた。西村晴雄



庭野日鏡会長は「素心」「和言」の二幅の書き初めに込めた意味を説示した

立正佼成会(庭野日鏡会長)は1月10日午前11時から、千葉県野田市の本部・聖神堂で「二十之儀」を執り行った。これまでの「成人之儀」の名称を改め、二十歳の名称を改め、二十歳を迎えた青年男女を祝う式典とした。

午前11時、太鼓の二連打が響き渡り、波瀾敬詞教主が御神域の天使閣大神の御座に昇殿し、成人者の幸せな人生を願う「御祈り」を捧げた。成人者は合掌し、

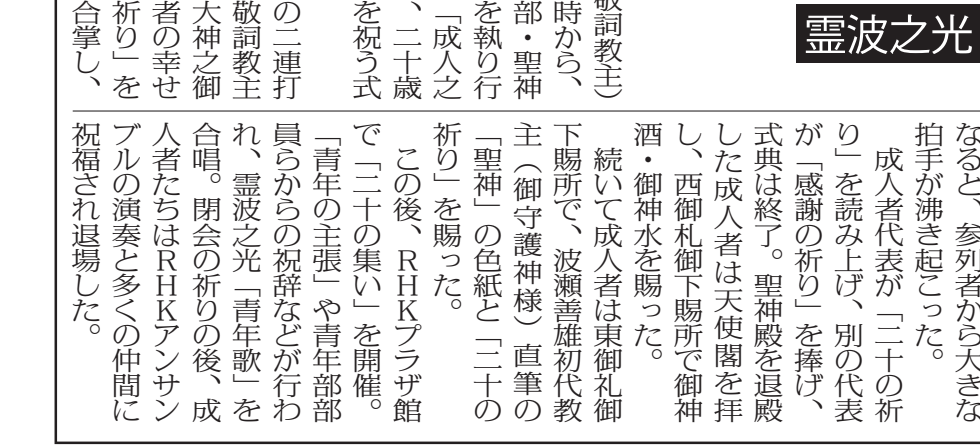


第一部「太陽精神碑前儀」解脱金剛尊者が「祖先の汗と涙と肉と骨との結晶」と示した五穀を供え、岡野理事長が奉告文を奏上

「二十之儀」本部で執行

霊波之光(波瀾敬詞教主)は1月10日午前11時から、千葉県野田市の本部・聖神堂で「二十之儀」を執り行った。これまでの「成人之儀」の名称を改め、二十歳を迎えた青年男女を祝う式典とした。

午前11時、太鼓の二連打が響き渡り、波瀾敬詞教主が御神域の天使閣大神の御座に昇殿し、成人者の幸せな人生を願う「御祈り」を捧げた。成人者は合掌し、



霊波之光(波瀾敬詞教主)は1月10日午前11時から、千葉県野田市の本部・聖神堂で「二十之儀」を執り行った。これまでの「成人之儀」の名称を改め、二十歳を迎えた青年男女を祝う式典とした。

コロナ禍への諸宗教の対応とは

国宗研 オンライン公開シンポジウム

国際宗教研究所(国宗研、島田進理事長)は2月19日午後1時から、オンラインで公開シンポジウム「コロナ禍で見極める宗教者の視座」を開催した。

このシンポジウムは、国宗研の井上順孝氏がシンポジウムを説明。グローバル化や情報化が進む中、新型コロナウイルス禍で宗教者のオンラインを活用した宗教活動などが代替手段になっている。今後の宗教活動にどのような可能性が期待できるかを語り、国宗研が取り組んでいる活動を紹介した。



中、諸行事の執行や布教、教化活動などについて、具体例や体験談を交え詳細に報告し、その中には「コロナ禍を経験したことが、むしろ宗教活動の機会となった」と述べた。

この後、田中真生氏、神道・仏教・キリスト教・新宗教の4人の宗教者が発言。各氏とも、コロナ対策で制限がある中で、多様な対応が求められていると述べた。

ACRPP第9回大会と WCRPP 50周年を振り返る

WCRPP日本委員会 新春学習会を開催

世界宗教者平和会議(WCRPP)日本委員会(植松誠理事長)は1月28日午後2時から、東京・杉並の立正佼成会法輪堂で「2022年新春学習会」をオンライン併用で開催した。

テーマは「WCRPPのこれからの活動」で、WCRPP創設50周年をうけて、冒頭、庭野日鏡WCRPP日本委員会会長があいさつ。WCRPPのアジア地域版であるアジア宗教者平和会議(ACRPP)の第9回大会が昨年10月に開催されたこと、またWCRPP創設50周年記念式典・シンポジウムが昨年11月に開催されたことを受け、それらを振り返り、今後のWCRPPの歩みについて考えるという趣旨で説明した。



その内容や意義、込められた思いなどについて説明した。この後、田中真生氏、神道・仏教・キリスト教・新宗教の4人の宗教者が発言。各氏とも、コロナ対策で制限がある中で、多様な対応が求められていると述べた。

LGBTQへの理解求める

東京自殺防止センター

認定NPO「国際ジェンダーズ・東京自殺防止センター」(吉岡尚文理事長)は2月11日午後7時からオンラインで、第8回西原由記子記念事業講演会を「LGBTQの子どもの孤立を防ぐために」をテーマに、東京都の共催で開催した。



講師は一般社団法人「LGBTQ」の代表、遠藤まこと氏。「LGBTQ」は近年知られるようになったが、「当事者の声」を届けることが重要であると述べた。

「LGBTQ」は近年知られるようになったが、「当事者の声」を届けることが重要であると述べた。また、LGBTQの子どもの孤立を防ぐために、社会がどのように対応すべきかを話し、当事者が安心して暮らせる環境を整えることが重要であると述べた。

「LGBTQ」は近年知られるようになったが、「当事者の声」を届けることが重要であると述べた。また、LGBTQの子どもの孤立を防ぐために、社会がどのように対応すべきかを話し、当事者が安心して暮らせる環境を整えることが重要であると述べた。

新政分離の会 オンライン学習会

天皇制と政教分離

木村草太氏が講演

新政分離の会「天皇制と政教分離」をテーマとしたオンライン学習会を開催した。木村草太氏が講演し、憲法第20条と第89条の関係を解説した。



木村草太氏は講演で、はじめに憲法第20条と第89条の関係を解説した。また、天皇制と政教分離の関係について、憲法学者としての見解を述べた。

憲法下の天皇を中心とする全体主義・軍国主義国家体制は過去の過ちであったと述べ、天皇の歴史的権威を封じ込めるべきであると述べた。また、天皇の権威を保護するための憲法改正の必要性を述べた。

ひとりで悩まず電話して!

ホントにつらい時って誰にもいえない…よね。

●必要に応じて面接をしています。
●手紙でのご相談にも応じています。
●秘密は守られます。
●相談は無料です(通話料はかかります)。
●金銭的な援助はできません。
●医療・法律・教育関係の助言や指導は、専門家をお願いします。
●特定の思想・宗教・政党などは一切関係ありません。

NPO法人 国際ピフンダース 東京自殺防止センター

03-5286-9090

年中無休、夜8時から深夜2時30分まで
月曜は夜10時30分から深夜2時30分まで
火曜は夕方5時から深夜2時30分まで

〒169-0072 東京都新宿区大久保3-10-1 日本基督教団シロアム教会内 事務局電話番号 03-3207-5040 (FAX 03-3207-5098)